

平成29年度
事業計画書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

公益社団法人日本ボート協会

平成29年度事業計画

I 事業方針

平成29年度においては、本会の二大方針である「国際競技力の向上」、「ボート人口増大」を引き続き着実に実現する為、定款に定める以下の各事業を推進する。

「日本の地域社会でボート競技の普及を図る」においては、平成24年度から26年度にかけて実施した普及プロジェクトにおける検討に基づき、本年度も推進策を継続する。また、全国ボート場所在市町村協議会との連携をさらに強め、2020年オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致及び物的・人的環境の整備を働きかけ、普及活動を強化していく。

「ボート選手の育成・強化を行い、競技力の向上を図る」においては、リオデジャネイロオリンピックの評価を踏まえ、2020年東京オリンピックにおける日本ボート界悲願のメダル獲得に向けた最初のステップとして、ギザピエNSD(National Sports Director)主導による強化方針のもと、加えて、東京オリンピックにおけるボート種目の見直しを勘案し、強化マネジメント体制ならびにコーチ体制を強化し強化活動の一層の充実を図る。また、中長期強化戦略プランに基づき、ジュニアからシニアの一貫した国際競技力の向上のための計画を継続するとともに、オープン種目への対応も視野に入れ、ボートに適したタレントを有する選手の発掘をシステム化し、発掘した選手の育成に重点を置いた活動へ進化させる。今年度よりタレント発掘活動の一環として、新たにJOCエリートアカデミー事業にも参画する。

「ボートの全日本選手権大会及びこれに準ずる競漕会を開催する」においては、今年度は昨年と同じく12大会を開催するとともに、国内競技者の登録認定を行う。

「日本代表チームの役員と選手を選定し、国際競漕大会へ派遣する」においては、世界レベルとのギャップを認識し且解消すべく、国際競漕機会の増加を図る一方で選考過程の明確化とより厳格な派遣基準により、シニア・U23はワールドカップ戦、世界選手権、アジア選手権等へ、また、ジュニアは世界ジュニア選手権、アジアジュニア選手権に派遣する。

「ボート競技の諸規則・諸規定の制定及び競技用具の審査と検定」においては、ボートコースの新規・更新認定業務を都道府県協会、コース管理自治体等と協力して、本年度は6コースについて認定業務を行う。また、FISA規則の改定に合わせ、諸規則・規定を改定する。

あわせて、2020年に向けた協会財政基盤強化を重点的に行うとともに、公益法人としての環境整備並びに更なるガバナンス強化を推進する。

II 事業内容

1. 競技本部関係事業

(1) 競漕大会開催並びに競技者に関する事業

① 競漕大会開催について

- ・今年度は主催大会として、以下の大会を開催する。

開催期日	大会名	開催地・コース
5月26日（金）～28日（日）	第39回全日本軽量級選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
6月 3日（土）～ 4日（日）	第10回全日本マスターズレガッタ	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
6月 9日（金）～11日（日）	JOCジュニアオリンピックカップ 第15回全日本ジュニア選手権大会	熊本県菊池市 斑蛇口湖ボート場
6月24日（金）～25日（日）	第67回全日本社会人選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
7月29日（土）～30日（日）	第37回全日本中学校選手権競漕大会	福井県美浜町久々子 湖ボートコース
8月 3日（木）～ 6日（日）	第65回全日本高等学校選手権競漕大会	宮城県登米市アイエ ス総合ボートランド
8月31日（木）～9月3日（日）	第44回全日本大学選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
9月 2日（土）～ 3日（日）	第57回オックスフォード盾レガッタ	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
10月 6日（土）～ 9日（日）	第72回国民体育大会ボート競技会	愛媛県今治市 玉川湖ボートコース
10月26日（木）～29日（日）	第95回全日本選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
11月10日（金）～12日（日）	第58回全日本新人選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
平成30年 3月23日（金）～25日（日）	第29回全国高等学校選抜大会	静岡県浜松市 天竜ボート場

①全国マシンローイング大会開催

- ・本年度も全国各9ブロックのA大会及び20カ所を超えるB大会を開催する。
- ・平成28年度大会の成績優秀者について、2017アジアインドア選手権大会に派遣する。

②競技団体及び競技者について

- ・競技者規定に基づき、平成29年度の競技団体及び競技者の資格決定を行う。
- ・平成29年度の競技団体、競技者登録を行うとともに、当該年度の登録状況を把握する。

(2) コース認定に関する事業

今年度は以下の更新認定と新たな申請のあったコースについて実施する。

平成29年度認定更新コース

都道府県	コース名	級	距離 (m)	認定期間
岩手	錦秋湖漕艇場	C	1,000	平成29年10月19日迄
神奈川	相模湖漕艇場	C	1,000	平成29年11月21日迄
兵庫	円山川城崎漕艇場	B	1,000	平成29年 6月19日迄
愛媛	玉川湖ボートコース	B	1,000	平成29年 4月19日迄
福岡	遠賀川漕艇場	B	1,000	平成29年12月 6日迄
鹿児島	川内川漕艇場	C	1,000	平成29年12月 6日迄

(3) 2020東京オリンピック競技会場(海の森水上競技場)整備に関する事業

- ①東京都オリンピック・パラリンピック準備局及び2020組織委員会と連動し、2020オリンピック・パラリンピック大会並びにプレ大会である2019世界ジュニア選手権大会の開催に向

け、コースと関連施設の整備に当たる。

②また、2020組織委員会と連動し大会運営に係わる施設関連準備作業を推進する。

(4) 審判に関する事業

①審判業務

- ・本年度本会主催並びに主管大会に審判長はじめ審判員を派遣し、大会審判業務を行う。
- ・FISA臨時総会等で改定となったFISA規則の変更に伴う当協会競漕規則並びに審判規則の改訂を行う。

②審判員養成事業

審判員養成を目的に次の研修会と認定試験を行う。

研修会名称	開催時期	開催場所
第87回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催)	5月	埼玉県戸田市「戸田ボートコース」
公認審判員セミナー (B級審判員認定試験併催)	6月	熊本県菊池市「班蛇口湖ボート場」
第88回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催)	11月	埼玉県戸田市「戸田ボートコース」

2. 強化本部関係事業

(1) 選手強化に関する事業

今年度は以下の基本方針並び基本計画により、選手強化事業を実施する。

①2017シーズン基本方針

- ア) 2017世界選手権におけるボート強豪国グループへの食い込みを狙う。
- イ) 世界で戦えるクルー基準として「Ideal Time」を適用する。
- ウ) 2020東京オリンピック種目への取り組みを強化する。

②2017シーズン基本計画

ア) 事前合宿及び事前テストの実施

- ・2016シーズンナショナルチーム選手を対象に2017シーズンに向けた事前合宿を行うとともに、2017ナショナルチームにチャレンジする選手を対象に6KmTTによる事前テストを行う。

イ) 第一次強化合宿

- ・2017ナショナルチームにチャレンジする選手を対象に、新トレーニングプログラムの習得と定着及び個人レベルのパフォーマンス向上を目的に行う。

ウ) ナショナルチーム選考

- ・新たに決定する2020東京オリンピックの種目により、ナショナルチームの規模及び想定するクルー編成を行う。

エ) ナショナルチーム強化合宿及び海外遠征

- ・国内強化合宿

時期	合宿名	対象選手	時期	合宿名	対象選手
4月	国内強化合宿	シニア・ジュニア	12月	国内強化合宿	シニア
5月	国内強化合宿	シニア・ジュニア	12月	U19発掘	ジュニア

6月	国内強化合宿	ジュニア	1月	国内強化合宿	シニア・ジュニア
7月	国内強化合宿	シニア	2月	国内強化合宿	シニア・ジュニア
11月	国内強化合宿	シニア	3月	国内強化合宿	シニア

・海外強化合宿及び国際大会派遣(除く世界選手権)

時期	合宿名及び大会名	開催地	対象選手
4月	海外強化合宿	フランス及びドイツ	ジュニア
6月	ワールドカップ第2戦	ポーランド・ポズナム	シニア
7月	ワールドカップ第3戦	スイス・ルツェルン	シニア
9月	アジア選手権	タイ・パタヤ	シニア
10月	アジアジュニア選手権	シンガポール	ジュニア

・世界選手権派遣

時期	合宿名及び大会名	開催地	対象選手
7月	U23世界選手権	ブルガリア・プロブティブ	U23・シニア
8月	U19世界選手権	リトアニア・トラカイ	ジュニア
9月	2017世界選手権	アメリカ・サラソタ	シニア

(2) タレント発掘及び競技者育成に関する事業

今年度も、JSCくじ助成事業として、以下の事業を実施する。

①トライアウトの継続実施

・トライアウト第一次選考については、常設、マシンローイング大会連携、他NF連携、地域タレント発掘連携及びターゲットNTD型により実施する。

②タレント育成選手国内育成合宿の実施

・タレント育成選手A・Bにおいては、埼玉県・戸田並びに福井県・久々子湖に延べ7回の国内育成合宿を実施する。

③有望選手発掘育成の実施

・今年度は計3回の有望選手発掘育成合宿を実施する。

④エリートアカデミー事業への参画

・今年度よりボート競技アカデミー生2名並びに専任スタッフ1名により、JOCエリートアカデミー事業に参画する。

⑤メダルポテンシャルアスリート国内育成合宿の実施

・メダルポテンシャルアスリートA～Cにおいては、戸田ボートコースを中心に3回の国内育成合宿を実施する。

⑥メダルポテンシャルアスリート海外遠征

派遣月	大会名及び合宿名	開催地	対象選手
4月	フランスキャンプ	フランス	タレントA
5月	ドイツ国際ジュニアレガッタ	ドイツ・ミュンヘン	タレントA・EA
6月	Holland Beker	オランダ・アムステルダム	EA
6月	ワールドカップ第2戦	ポーランド・ポズナム	MPA

8月	オランダキャンプ	オランダ	タレントA
8月	アジア選手権	タイ・パタヤ	MPA
10月	香港レガッタ	香港・沙田	タレントA・EA
12月	ニュージーランドキャンプ	ニュージーランド	タレントA・EA
1月	香港キャンプ	香港・沙田	タレントA・EA
2月	香港キャンプ	香港・沙田	タレントA・EA

(3) 医科学に関する事業

①競技用具の審査と検定に関する事業

- ・本会の規格艇登録規定に基づき、規格艇の審査及び原簿登録に係わる業務を行う。
- ・第72回国民体育大会、第65回全国高等学校選手権及び第29回全国高等学校選抜大会において競漕艇の計測業務を行う。

②メディカルサポートに関する事業

- ・戸田ポートコースにおける全日本4大会に医師並びに看護師を派遣し、救急医事業務を行う。
- ・国内強化合宿、海外強化合宿及び海外大会へ、医師並びにトレーナーが帯同し、選手のコンデショニング維持、改善及び指導を行う。
- ・コンデショニングに関する知識を普及するため、指導者、選手を対象に随時講習会を開催し、またHPを利用した広報活動を行う。

③ドーピングに関する事業

- ・日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の委託事業として、国内大会においてドーピング検査を行う。
- ・JADAと連携し、競技団体及び選手を対象とした、アンチ・ドーピングに関する普及啓発のための講習会を開催する。

(4) 指導者育成に関する事業

①公認スポーツ指導者養成事業

(財)日本体育協会公認スポーツ指導者養成事業による公認スポーツ指導者養成講習会について、本年度は以下の日程で講習会を開催する。

講習会名	開催日程	開催場所
公認コーチ養成講習会	平成30年1/5(金)～9(火)	埼玉県・戸田市
公認指導者養成講習会	11/23(木)～26(日)	三重県津市・津ヨットハーバー
資格更新義務研修	4月	中日本レガッタ
	5月	朝日レガッタ
	日程未定	高体連3地区 (東地区・中地区・西地区)
公認スポーツ指導者講師研修会	2月	埼玉県・戸田市

(5) アスリートに関する事業

- ① トップアスリートの意見を集約し協会諸事業に反映する事業
 - ・各委員会より適宜諮問される諸事項についてアスリートの意見を集約し、アスリートファースト並びにアスリートの環境改善につながる提言を積極的に行う。
- ② 本会主催諸事業に協力しボート競技の普及と発展に貢献する事業
 - ・ボート競技並びにアスリートの地位向上のため、2020年オリンピックに向けた広報活動講演活動に積極的に参画する。
 - ・ボート競技の普及発展の為、他の委員会と連携し、「お台場レガッタ2017」等の普及に関するイベントに積極的に参加する。
- ③ 女性アスリートの競技環境改善のための事業
 - ・女性アスリートの競技環境改善の為、女性アスリートの意見を集約し、競技環境改善につなげるサポートを行う。
- ④ トップアスリートのセカンドライフの支援のための事業
 - ・トップアスリートが引退後も継続的にボート競技や協会の活動に携われるようサポートを行う。

3. 普及本部関係事業

(1) 普及に関する事業

- ① 全国ボート場所在市町村協議会との連携

平成24年度から26年度にかけて実施した「ボート競技普及プロジェクト」での検討に基づき、「全国ボート場所在市町村協議会」加盟の各水域をはじめ、全国主要水域のボート普及環境の整備をはじめとした活動を行う。また、2020年東京オリンピックの事前キャンプ誘致について、連携して推進して行く。
- ② 全国マシンローイング大会の開催

第30回全国大会を平成28年10月～平成29年1月の間、全国9ブロックに加え、全国19拠点で開催する。
- ③ 「お台場レガッタ2017」の開催

日本スポーツ振興センター助成事業として一般愛好者、初心者参加を募り、参加者、観客が共に楽しみ、ボート競技の魅力を感じてもらうことを目的に「お台場レガッタ2017」を7月2日(日)お台場海浜公園で開催する。
- ④ 関連団体の活動支援

中学生、高校生及び障がい者のボート競技振興を図るため、全国中学校ボート連盟、全国高等学校体育連盟ボート専門部及びNPO法人日本パラローイング協会の活動に対し、助成金交付と支援を行う。
- ⑤ オリンピアンとの会活動
 - ・ボート競技普及を目的として、オリンピックによるボート教室を2～3ヶ所（長野県諏訪湖、愛媛県・今治など）で実施する。
 - ・同じく、オリンピックによる講演会を2回実施する。

(2) 広報に関する事業

①協会広報誌「ROWING」の発行

本年度は、当協会機関紙「ROWING」を6回発行する。

②本会ホームページ

ホームページの速報化と強化関連を中心に掲載情報量のアップを図るとともに、現状の本会の事業・広報活動に合わせた内容で運用する。

③報道機関、マスコミへの対応・協力

- ・東京運動記者クラブをはじめ報道機関、出版業界との関係を密にし、報道を通じて本会の活動の広報に取り組む目的で、メディア懇談会を行う。
- ・2020オリンピック関連取材に積極的に協力し、ボート競技の普及と発展に寄与する。

(3) 安全環境に関する事業

①日本ボート協会認定セーフティアドバイザー研修事業

本会認定セーフティアドバイザー研修については、本年度は以下の日程で研修会を開催する。なお、本研修は各水域や団体における安全責任者も受講の対象とする。

事業名	開催日程	開催場所
研修会	1月	埼玉県・戸田市 他1ヵ所（未定）

4. 管理本部関係事業

(1) 国際関係事業

①国際審判派遣

今年度は以下の国際大会に審判員を派遣する。

大会名	開催期日	会場地・開催国	審判員
ワールドカップⅢ	7/7(金)～9(日)	スイス・ルツェルン	佐藤裕(東京)
世界U23選手権	7/19(水)～23(日)	ブルガリア・プロブティブ	中島大祐(東京)
世界マスターズレガッタ	9/7(木)～10(日)	スロベニア・ブレッド	塚田秀樹(京都)
世界選手権	9/23(土)～10/1(日)	アメリカ・サラソタ	田畑喜彦(愛知)

※ARF主催大会への派遣については決定次第派遣する。

②日韓交流事業

- ・今年度は韓国へ選手団を派遣する。

③FISA及びARF総会への代表者派遣

- ・各連盟の事業方針、各国動向等最新情報を把握するため下記総会へ代表者を派遣する。

会議名	会議日程	開催国・会場地
世界ボート連盟(FISA)通常総会	10月2日(月)	アメリカ・サラソタ
アジアボート連盟(ARF)総会	9月7日(木)	タイ・パタヤ

④JOC国際人養成アカデミーへの受講者派遣

- ・昨年に引き続き、将来国際ステージで活躍できる人材育成を目的に、受講生1名を派遣する。

(2) 財政基盤強化に関する事業

①助成金について

- ・日本オリンピック委員会(JOC)、日本スポーツ振興センター(JSC)、その他団体に対し当協会の実施事業の目的及び重要性についてPRを行い、出来る限りの支援をお願いする。

②強化募金について

- ・今年度も継続して企業並びに個人に対し、選手強化事業の目的及び重要性についてPRを行い、出来る限りの支援をお願いする。

③パートナーシップ・プログラムについて

- ・昨年度整備した「パートナーシップ・プログラム」の販売を委託先と連携し、財政基盤強化の次の柱としてその販売を推進する。

④収益事業の見直しについて

- ・既存収益事業の見直しとともに、公益法人としての事業継続・発展となる新たな事業の創出について調査・検討を行う。

(3) 2020年に向けた事業

- ①2020年東京オリンピックのリハーサル大会として行われる、2019年世界ジュニア選手権大会開催に必要な情報の収集と準備を、2020オリンピック・パラリンピック組織委員会及びFISAと連携して進める。

- ②2020年東京オリンピック大会の開催に必要な情報の収集と準備を、2020オリンピック・パラリンピック組織委員会及びFISAと連携して進める。

(4) ガバナンス強化に関する事業

①公益法人に関する業務の推進

- 公益法人のもとで協会運営を行うために、必要な各種規定・規則類のさらなる整備をするとともに、その他の関連業務を継続して実施する。

②コンプライアンスの徹底

- 昨年に引き続き、各研修会並びに講習会における啓蒙活動を継続する。

以上